

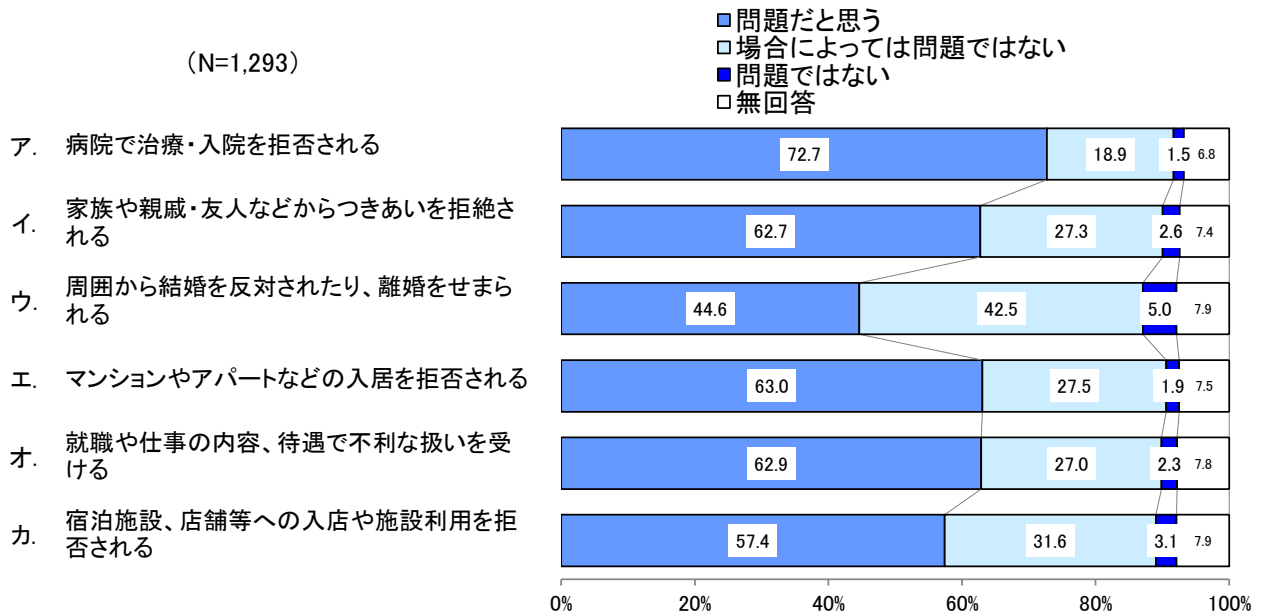
9 さまざまな人権問題について

(1) 特定の疾患の方に対する人権問題についての考え方

問 35 あなたは、エイズ患者・HIV感染者、ハンセン病回復者に対する次のような行為は問題であると思いますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

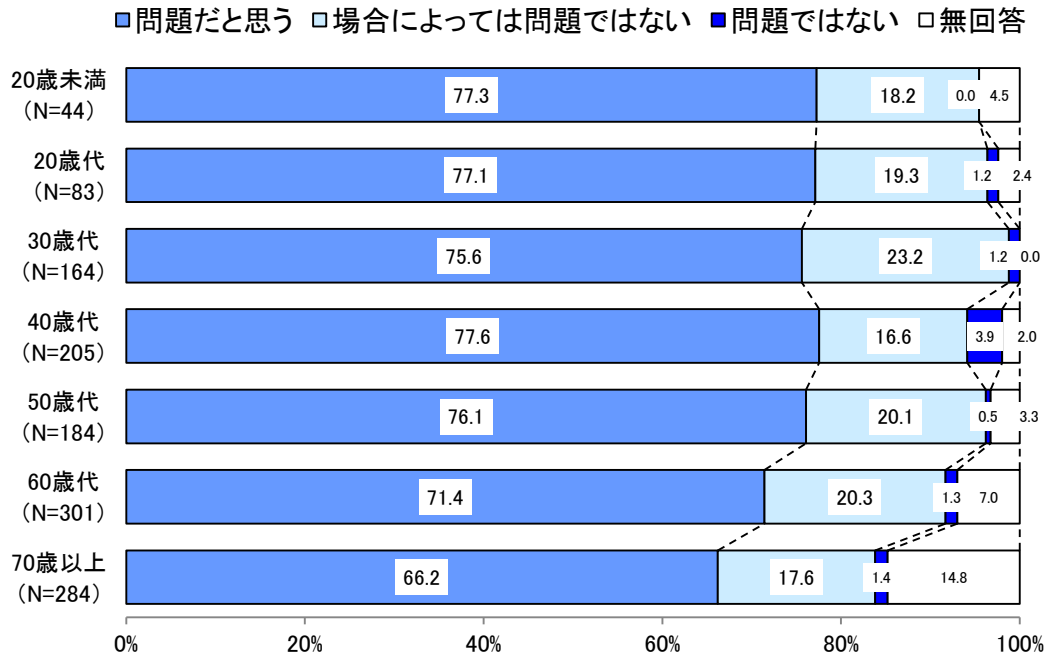
【図表 9-1 特定の疾患の方に対する人権問題についての考え方】

(N=1,293)



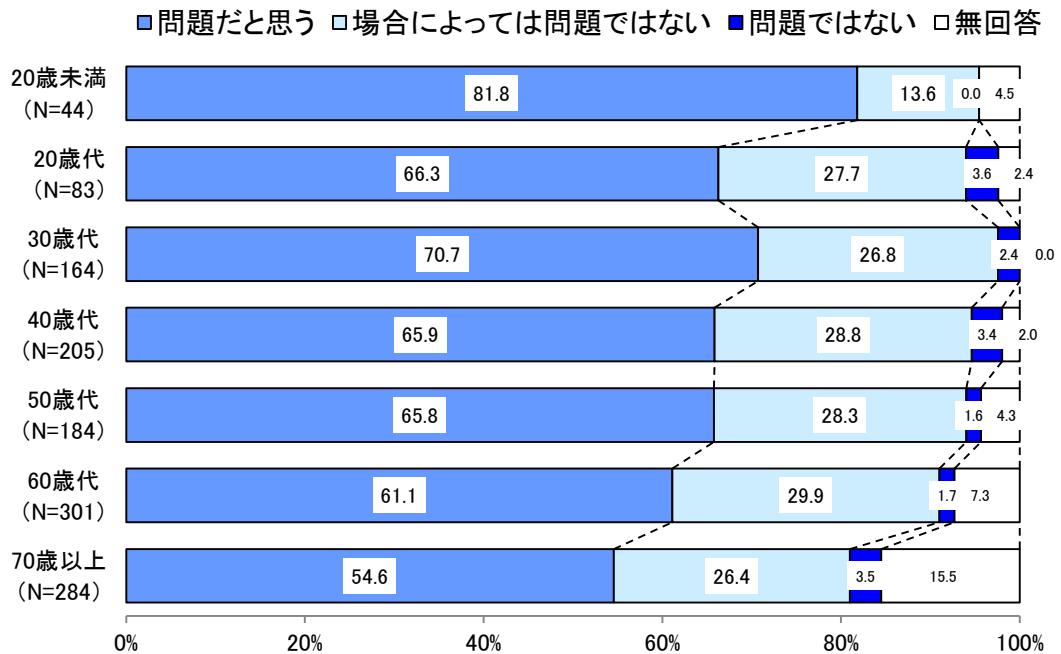
特定の疾患の方に対する人権問題についての考え方について、「問題だと思う」が過半数を占めている項目は「ア. 病院で治療・入院を拒否される」(72.7%)、「イ. 家族や親戚・友人などからつきあいを拒絶される」(62.7%)、「エ. マンションやアパートなどの入居を拒否される」(63.0%)、「オ. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受ける」(62.9%)、「カ. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否される」(57.4%)となっている。「ウ. 周囲から結婚を反対されたり、離婚をせまられる」は「場合によっては問題ではない」が42.5%と「ウ」以外の項目と比べて高く、「問題だと思う」が半数を下回っている。(図表 9-1)

【図表 9-1-1 年齢別 ア. 病院で治療・入院を拒否される】



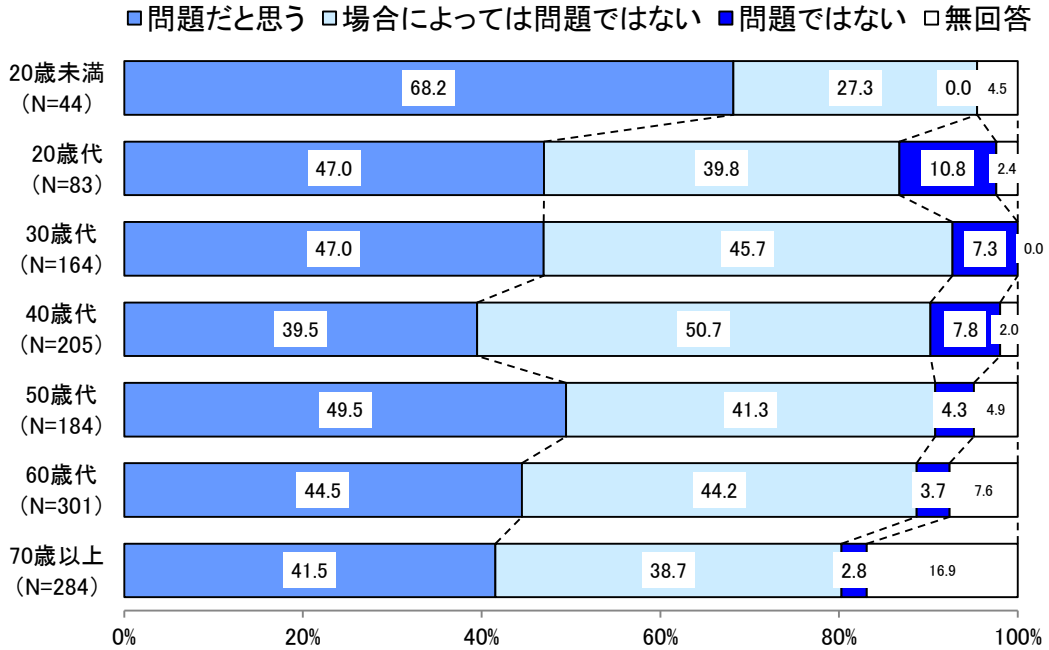
「ア. 病院で治療・入院を拒否される」を年齢別で見ると、「問題だと思う」は50歳代以下では7割台後半、60歳代では7割台前半、70歳以上では6割台となっている。(図表 9-1-1)

【図表 9-1-2 年齢別 イ. 家族や親戚・友人などからつきあいを拒絶される】



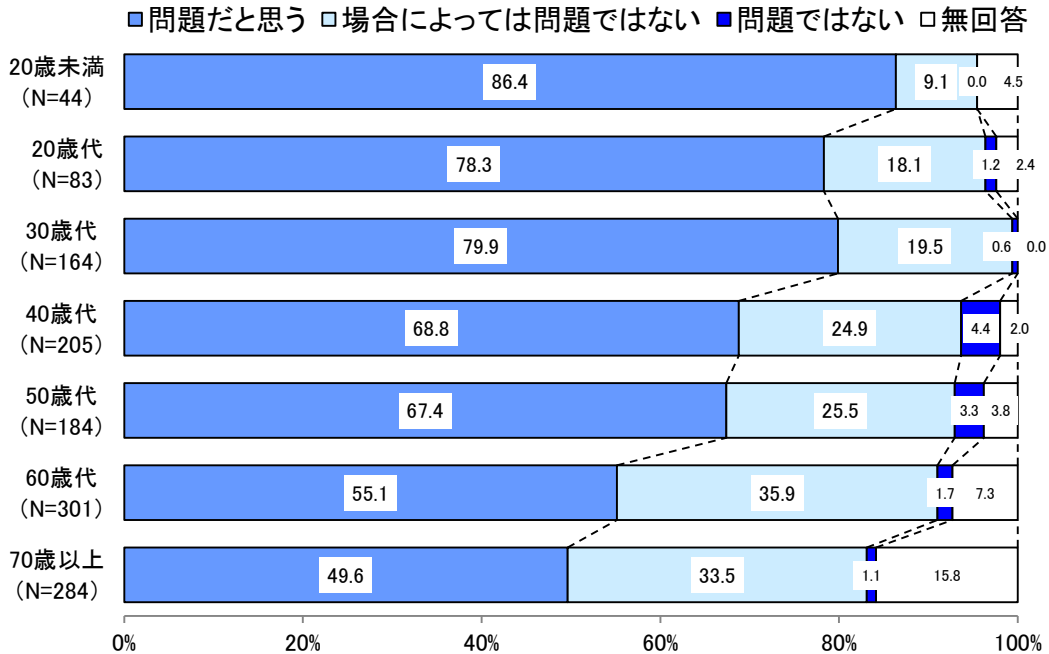
「イ. 家族や親戚・友人などからつきあいを拒絶される」を年齢別で見ると、おおむね年齢が上がるにつれて「問題だと思う」が低くなっており、20歳未満では81.8%だが、70歳以上では54.6%にとどまっている。(図表 9-1-2)

【図表 9-1-3 年齢別 ウ. 周囲から結婚を反対されたり、離婚をせまられる】



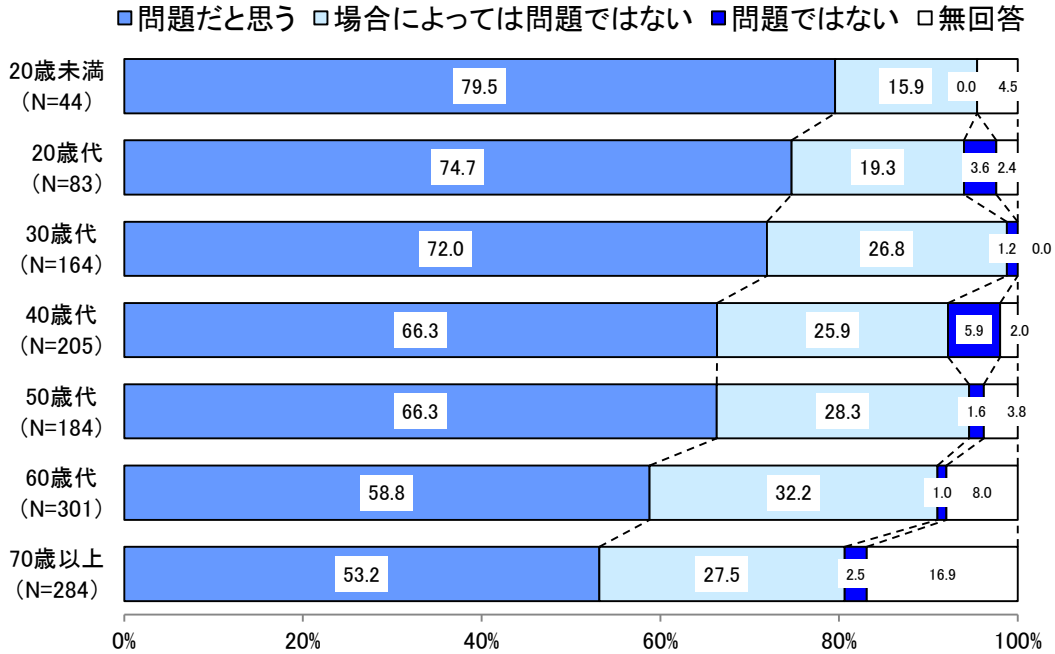
「ウ. 周囲から結婚を反対されたり、離婚をせまられる」を年齢別で見ると、「問題だと思う」は 20 歳未満が 68.2%で最も高くなっている。20 歳代以上では「問題だと思う」は約 4~5 割となっている。(図表 9-1-3)

【図表 9-1-4 年齢別 エ. マンションやアパートなどの入居を拒否される】



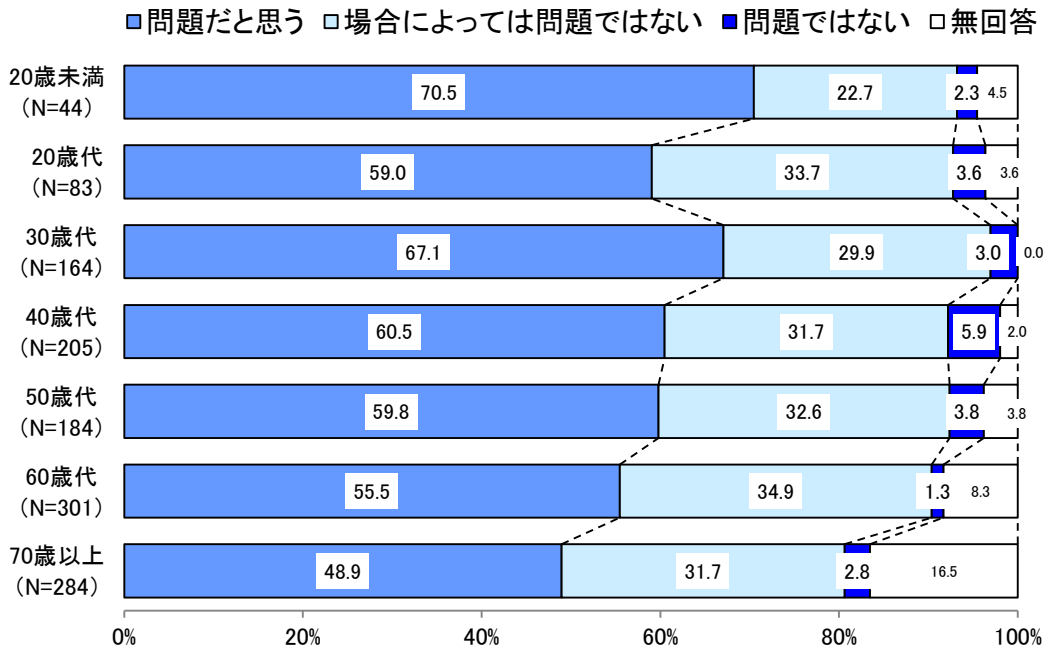
「エ. マンションやアパートなどの入居を拒否される」を年齢別で見ると、おおむね年齢が上がるにつれて「問題だと思う」が低くなっており、20 歳未満では 86.4%だが、70 歳以上では 49.6%にとどまっている。(図表 9-1-4)

【図表 9-1-5 年齢別 オ. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受ける】



「オ. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受ける」を年齢別で見ると、おおむね年齢が上がるにつれて「問題だと思う」が低くなっており、20歳未満では79.5%だが、70歳以上では53.2%にとどまっている。(図表 9-1-5)

【図表 9-1-6 年齢別 カ. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否される】



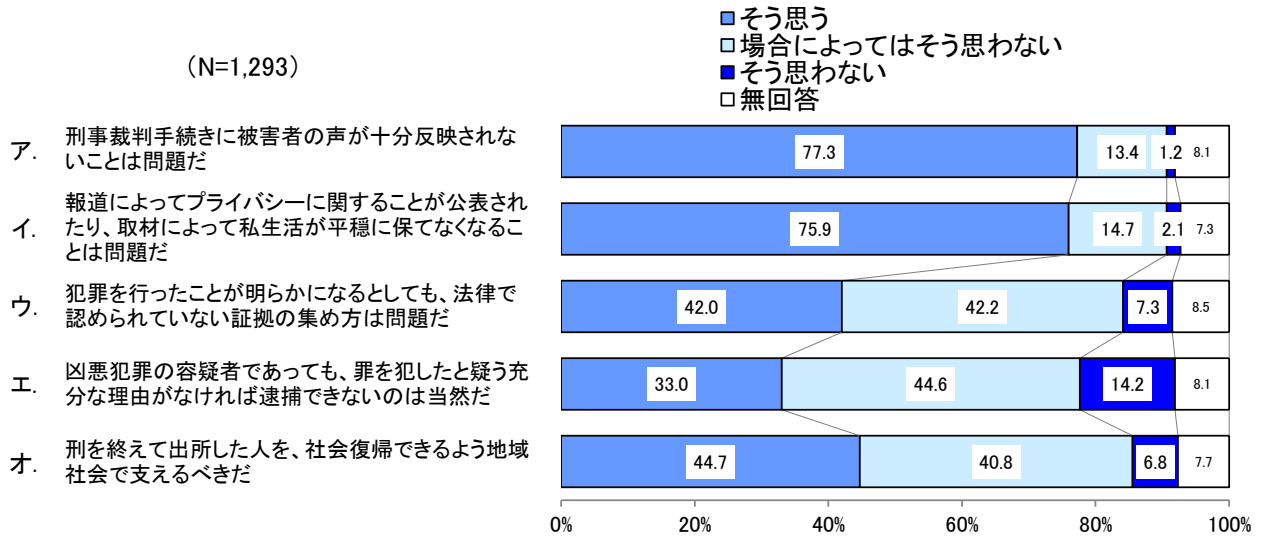
「カ. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否される」を年齢別で見ると、おおむね年齢が上がるにつれて「問題だと思う」が低くなっており、20歳未満では70.5%だが、70歳以上では48.9%にとどまっている。(図表 9-1-6)

(2) 犯罪に関する人権問題についての考え方

問 36 あなたは、犯罪に関する次の考え方について、どのように思いますか。  
 (それぞれあてはまる番号 1 つに○)

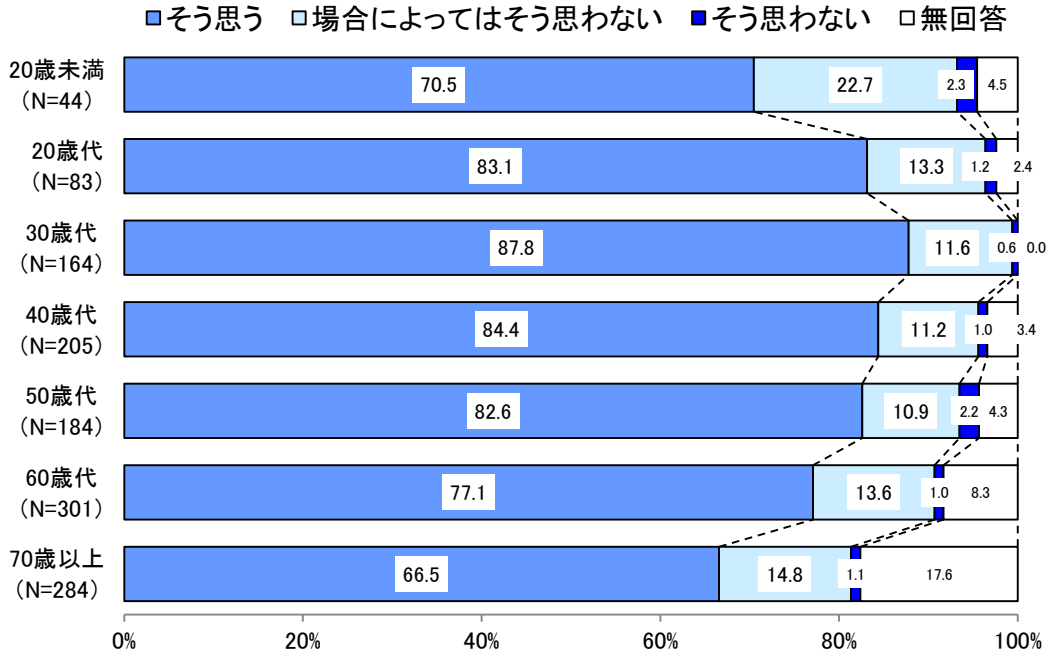
【図表 9-2 犯罪に関する人権問題についての考え方】

(N=1,293)



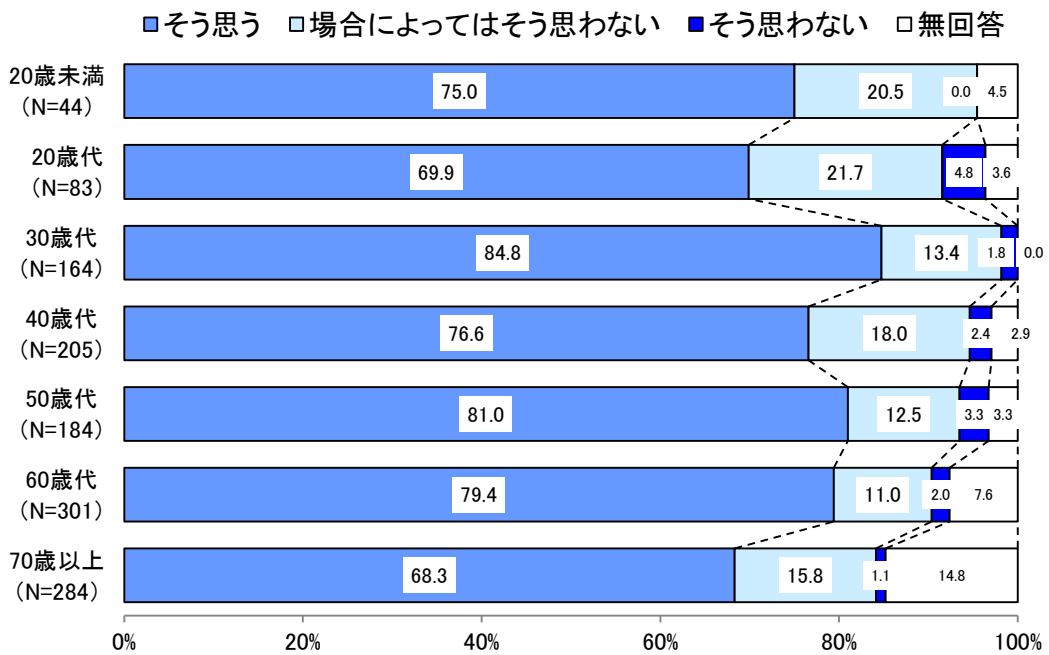
犯罪に関する人権問題についての考え方として、「そう思う」が過半数を占めている項目は「ア. 刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されないことは問題だ」(77.3%)、「イ. 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活が平穩に保てなくなることは問題だ」(75.9%)で、「そう思う」が半数を下回っている項目は「ウ. 犯罪を行ったことが明らかになるとしても、法律で認められていない証拠の集め方は問題だ」(42.0%)、「エ. 凶悪犯罪の容疑者であっても、罪を犯したと疑う十分な理由がなければ逮捕できないのは当然だ」(33.0%)、「オ. 刑を終えて出所した人を、社会復帰できるよう地域社会で支えるべきだ」(44.7%)となっている。(図表 9-2)

【図表 9-2-1 年齢別 ア. 刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されないことは問題だ】



「ア. 刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されないことは問題だ」を年齢別でみると、「そう思う」は 20 歳代～50 歳代では 8 割台、20 歳未満と 60 歳代では 7 割台、70 歳以上では 6 割台となっている。(図表 9-2-1)

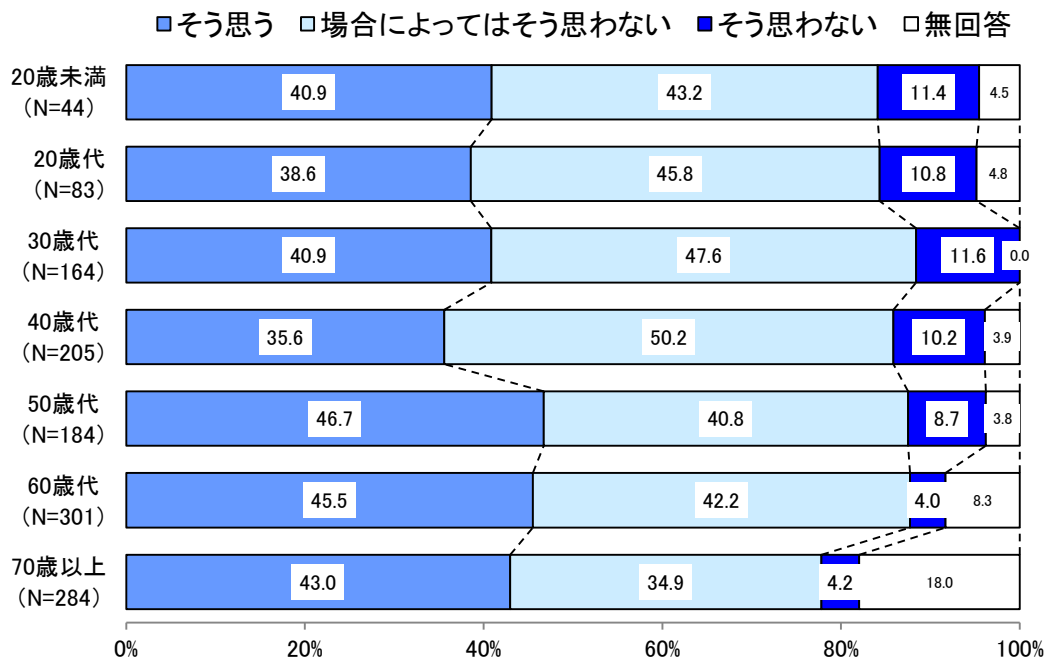
【図表 9-2-2 年齢別 イ. 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活が平穏に保てなくなることは問題だ】



「イ. 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活が平穏に保てなくなることは問題だ」を年齢別でみると、いずれの年齢でも「そう思う」が約 7～8 割となっている。(図表 9-2-2)

【図表 9-2-3 年齢別 ウ. 犯罪を行ったことが明らかになるとしても、

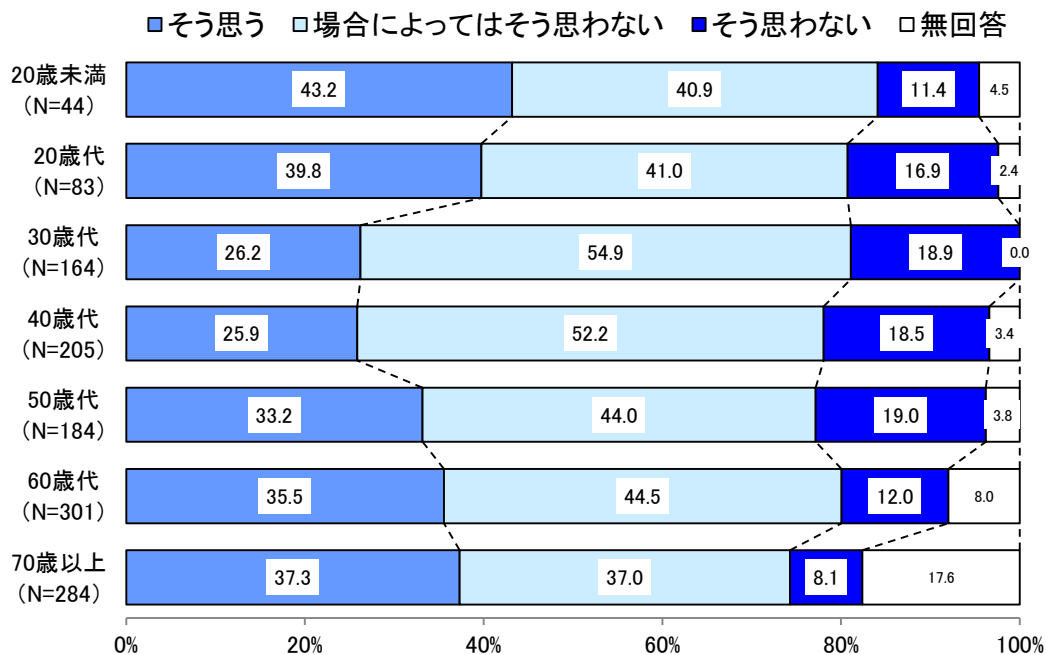
法律で認められていない証拠の集め方は問題だ】



「ウ. 犯罪を行ったことが明らかになるとしても、法律で認められていない証拠の集め方は問題だ」を年齢別でみると、いずれの年齢でも「そう思う」は半数を下回っている。(図表 9-2-3)

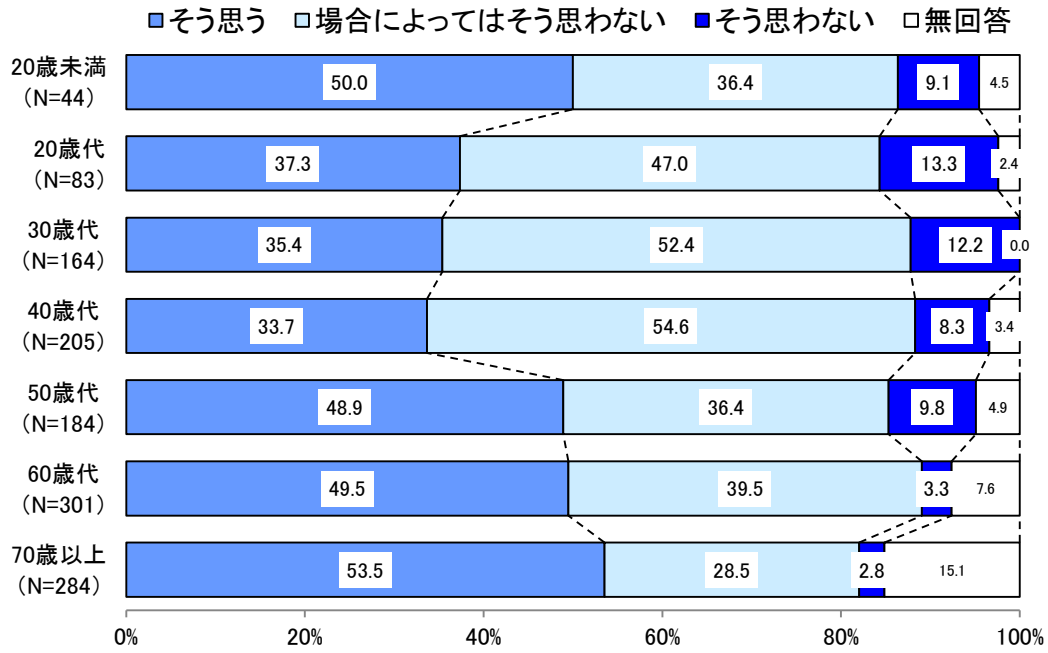
【図表 9-2-4 年齢別 エ. 凶悪犯罪の容疑者であっても、

罪を犯したと疑う十分な理由がなければ逮捕できないのは当然だ】



「エ. 凶悪犯罪の容疑者であっても、罪を犯したと疑う十分な理由がなければ逮捕できないのは当然だ」を年齢別でみると、「そう思う」は20歳未満では4割台、20歳代と50歳代以上では3割台、30歳代と40歳代では2割台となっている。(図表 9-2-4)

【図表 9-2-5 年齢別 オ. 刑を終えて出所した人を、社会復帰できるよう地域社会で支えるべきだ】



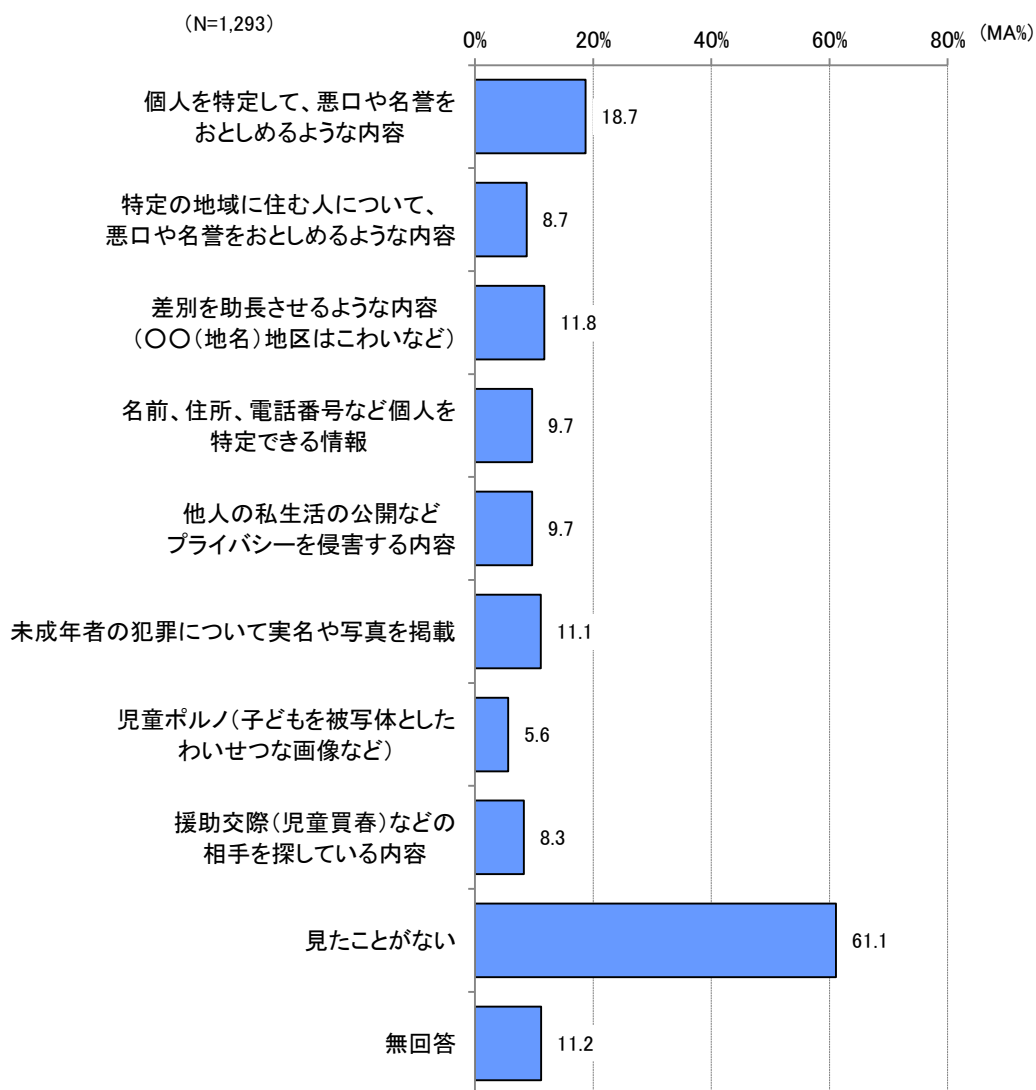
「オ. 刑を終えて出所した人を、社会復帰できるよう地域社会で支えるべきだ」を年齢別でみると、「そう思う」は20歳未満と50歳代以上では約5割、20歳代～40歳代では3割台となっている。(図表 9-2-5)



### (3) インターネット上の人権問題に遭遇した経験

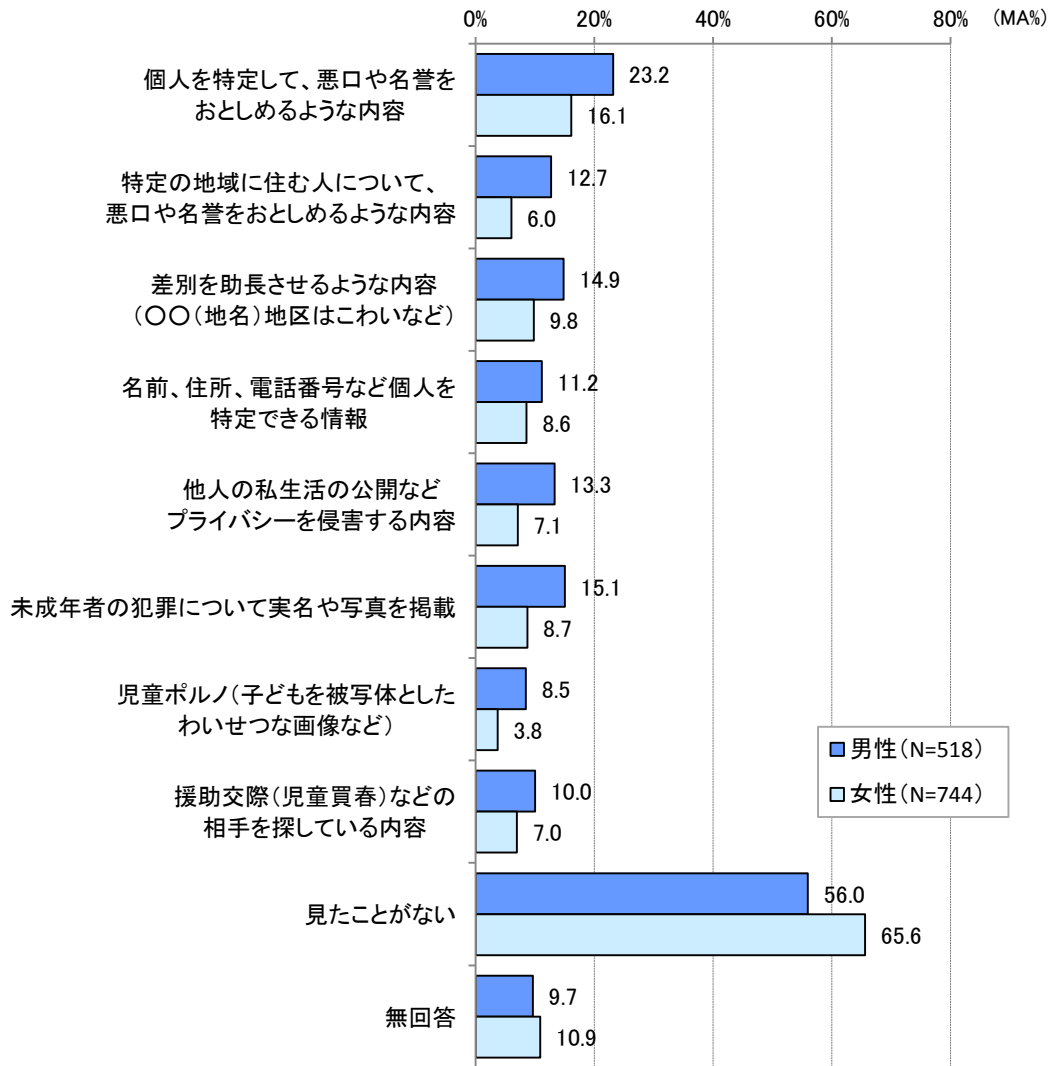
問 37 パソコン、スマートフォン、タブレットなどインターネット端末で、次のような書き込みや内容を見かけたことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

【図表 9-3 インターネット上の人権問題に遭遇した経験】



インターネット上の人権問題に遭遇した経験については、「見たことがない」が61.1%で最も高くなっている。経験がある内容では「個人を特定して、悪口や名誉をおとしめるような内容」が18.7%で最も高く、次いで「差別を助長させるような内容(〇〇(地名)地区はこわいなど)」が11.8%、「未成年者の犯罪について実名や写真を掲載」が11.1%となっている。(図表 9-3)

【図表 9-3-1 性別 インターネット上の人権問題に遭遇した経験】



インターネット上の人権問題に遭遇した経験を性別で見ると、女性は男性と比べて「見たことがない」が9.6ポイント高くなっている。経験がある内容についてはいずれの回答項目でも男性が女性を上回っている。(図表 9-3-1)

【図表 9-3-2 年齢別 インターネット上の人権問題に遭遇した経験】

上段(人) 下段(%)		問37													
		パソコン、スマートフォン、タブレットなどインターネット端末で、次のような書き込みや内容を見かけたことはありますか。													
		【複数回答】													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9					
回答者数		うや個人 な名を 内容を 特定し て、悪 口や名 誉を おとし めるよ うな内 容	おとし めるよ うな内 容	特定の 地域に 住む人 に	地区は こわい など	差別を 助長さ せるよ うな内 容	情報個 人住所 を特定 できる	名前、 住所、 電話番 号	その他 の私生 活の公 開な り	未成年 者の犯 罪につ いて	画像等 を掲載 した	児童ポ ルノ等 の提供 	援助交 渉（児 童買春 ）	見たこ とがない	無回答
年齢別	20歳未満	44 100.0	24 54.5	8 18.2	9 20.5	13 29.5	13 29.5	14 31.8	5 11.4	10 22.7	16 36.4	2 4.5			
	20歳代	83 100.0	41 49.4	22 26.5	35 42.2	23 27.7	25 30.1	19 22.9	14 16.9	19 22.9	26 31.3	2 2.4			
	30歳代	164 100.0	62 37.8	40 24.4	45 27.4	32 19.5	29 17.7	42 25.6	19 11.6	21 12.8	74 45.1	2 1.2			
	40歳代	205 100.0	58 28.3	17 8.3	32 15.6	30 14.6	22 10.7	35 17.1	16 7.8	29 14.1	109 53.2	8 3.9			
	50歳代	184 100.0	22 12.0	9 4.9	10 5.4	9 4.9	11 6.0	14 7.6	7 3.8	10 5.4	134 72.8	11 6.0			
	60歳代	301 100.0	19 6.3	9 3.0	9 3.0	6 2.0	11 3.7	11 3.7	6 2.0	9 3.0	232 77.1	37 12.3			
	70歳以上	284 100.0	12 4.2	5 1.8	8 2.8	8 2.8	8 2.8	5 1.8	3 1.1	5 1.8	190 66.9	71 25.0			

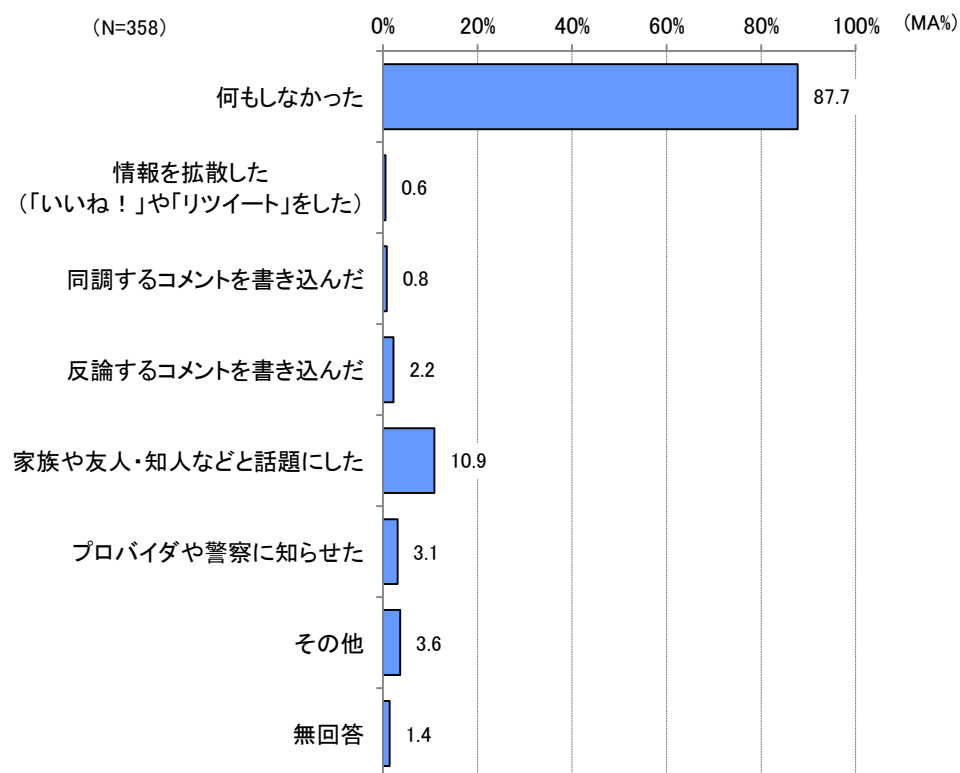
インターネット上の人権問題に遭遇した経験を年齢別でみると、経験がある内容についてはいずれの年齢でも「個人を特定して、悪口や名誉をおとしめるような内容」が最も高いが、年齢が下がるにつれて割合が高くなっており、20歳未満では5割を超えている。次いで20歳未満では「未成年者の犯罪について実名や写真を掲載」、20歳代と30歳代では「差別を助長させるような内容（〇〇（地名）地区はこわいなど）」がそれぞれ高くなっている。40歳代以上は「見たことがない」が過半数を占めているが、特に50歳代以上では7割前後となっている。（図表 9-3-2）

(4) インターネット上の人権問題に遭遇した時の対応

問 38 問 37 で「1～8」と答えた方にお聞きします。

あなたはその書き込みや内容を見た後、どうしましたか。(あてはまる番号すべてに○)

【図表 9-4 インターネット上の人権問題に遭遇した時の対応】



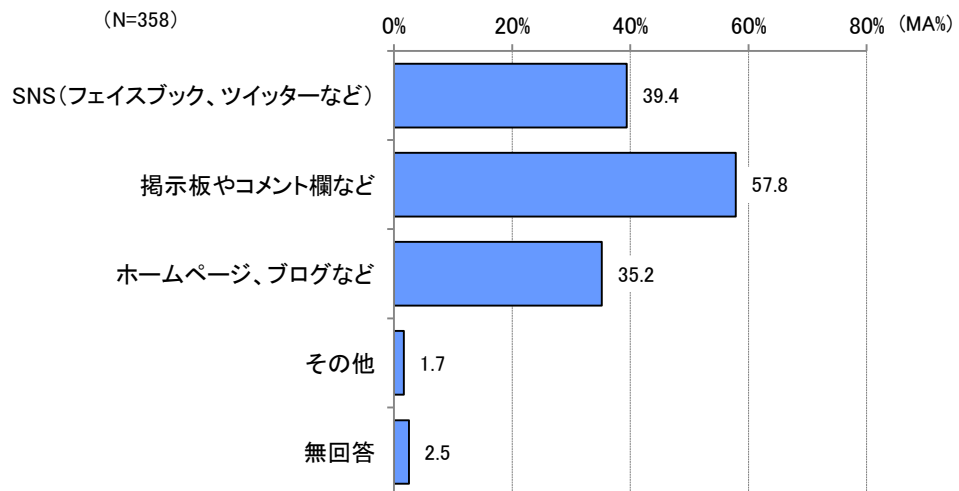
インターネット上の人権問題に遭遇した時の対応については、「何もしなかった」が 87.7%で、それ以外の回答項目を大きく上回っている。(図表 9-4)

(5) インターネット上の人権問題に遭遇した媒体

問 39 問 37 で「1～8」と答えた方にお聞きします。

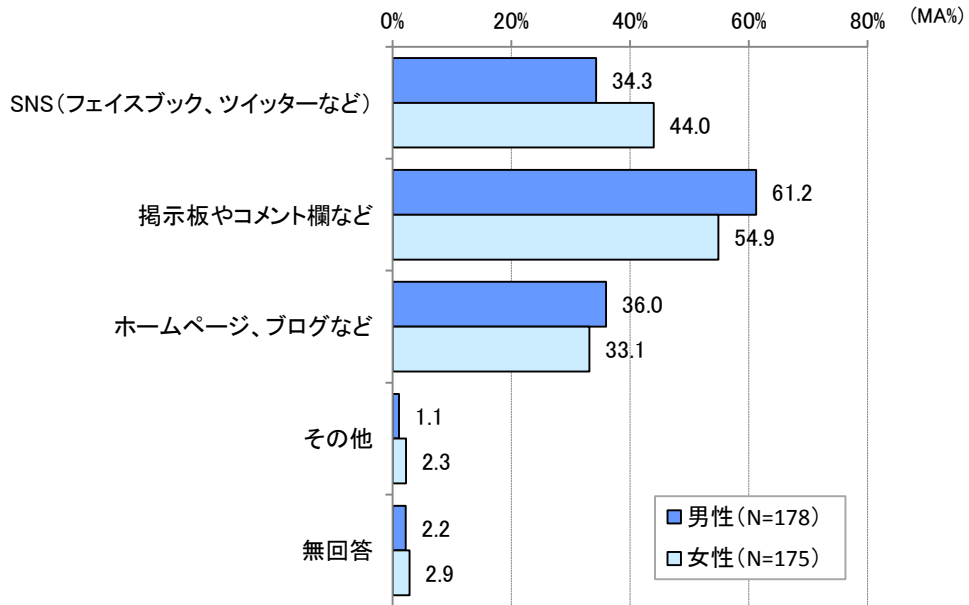
その書き込みや内容を、どんな媒体で見ましたか。(あてはまる番号すべてに○)

【図表 9-5 インターネット上の人権問題に遭遇した媒体】



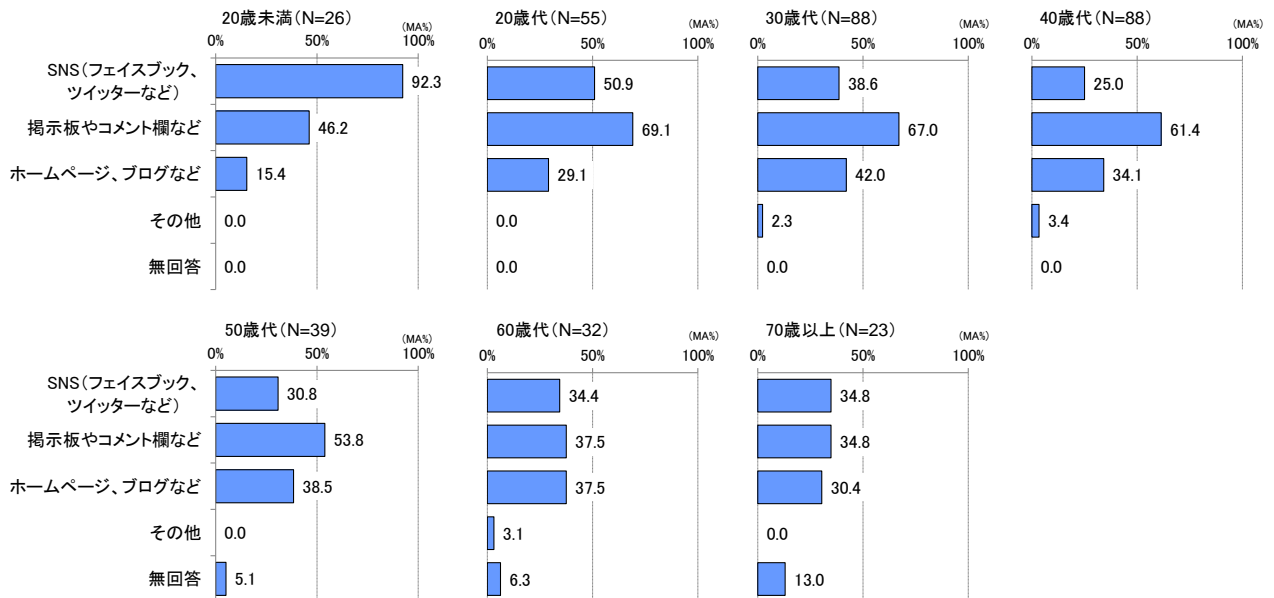
インターネット上の人権問題に遭遇した媒体については、「掲示板やコメント欄など」が 57.8%で最も高く、次いで「SNS (フェイスブック、ツイッターなど)」が 39.4%、「ホームページ、ブログなど」が 35.2%となっている。(図表 9-5)

【図表 9-5-1 性別 インターネット上の人権問題に遭遇した媒体】



インターネット上の人権問題に遭遇した媒体を性別で見ると、男性は女性と比べて「掲示板やコメント欄など」、「ホームページ、ブログなど」がそれぞれ 6.3 ポイント、2.9 ポイント高く、女性は男性と比べて「SNS (フェイスブック、ツイッターなど)」が 9.7 ポイント高くなっている。(図表 9-5-1)

【図表 9-5-2 年齢別 インターネット上の人権問題に遭遇した媒体】



インターネット上の人権問題に遭遇した媒体を年齢別で見ると、20歳未満は「SNS (フェイスブック、ツイッターなど)」が 9 割を超え非常に高くなっている。20歳代～50歳代は「掲示板やコメント欄など」が 5～6 割台で最も高くなっている。60歳代以上は「SNS (フェイスブック、ツイッターなど)」、「掲示板やコメント欄など」、「ホームページ、ブログなど」がそれぞれ 3 割台となっている。(図表 9-5-2)

【図表 9-5-3 インターネット上の人権問題に遭遇した経験別  
インターネット上の人権問題に遭遇した媒体】

上段(人) 下段(%)		問39					
		問37で「1～8」と答えた方にお聞きします。					
		その書き込みや内容を、どんな媒体で見ましたか。					
		【複数回答】					
		1	2	3	4		
		ク ス 、 N ツ ス イ （ フ エ イ ス ブ ッ ）	ど 掲 示 板 や コ メ ン ト 欄 な	な ホ ー ム ペ ー ジ 、 ブ ロ グ	そ の 他	無 回 答	
問 3 7 別	個人を特定して、悪口や名誉をおとしめるような内容	242 100.0	108 44.6	147 60.7	88 36.4	4 1.7	5 2.1
	特定の地域に住む人について、悪口や名誉をおとしめるような内容	113 100.0	46 40.7	74 65.5	45 39.8	1 0.9	5 4.4
	差別を助長させるような内容 （○○（地名）地区はこわいなど）	152 100.0	59 38.8	106 69.7	57 37.5	1 0.7	6 3.9
	名前、住所、電話番号など個人を特定できる情報	125 100.0	67 53.6	73 58.4	49 39.2	1 0.8	4 3.2
	他人の私生活の公開などプライバシーを侵害する内容	125 100.0	70 56.0	77 61.6	51 40.8	2 1.6	4 3.2
	未成年者の犯罪について実名や写真を掲載	144 100.0	69 47.9	94 65.3	62 43.1	1 0.7	5 3.5
	児童ポルノ（子どもを被写体としたわいせつな画像など）	73 100.0	32 43.8	49 67.1	41 56.2	1 1.4	4 5.5
	援助交際（児童買春）などの相手を探している内容	107 100.0	47 43.9	76 71.0	39 36.4	2 1.9	5 4.7

インターネット上の人権問題に遭遇した媒体を問 37 の「インターネット上の人権問題に遭遇した経験」別にみると、いずれの経験でも「掲示板やコメント欄など」が最も高くなっている。「名前、住所、電話番号など個人を特定できる情報」と「他人の私生活の公開などプライバシーを侵害する内容」では「SNS（フェイスブック、ツイッターなど）」が 5 割を超えている。「児童ポルノ（子どもを被写体としたわいせつな画像など）」では「ホームページ、ブログなど」が 5 割を超えている。（図表 9-5-3）

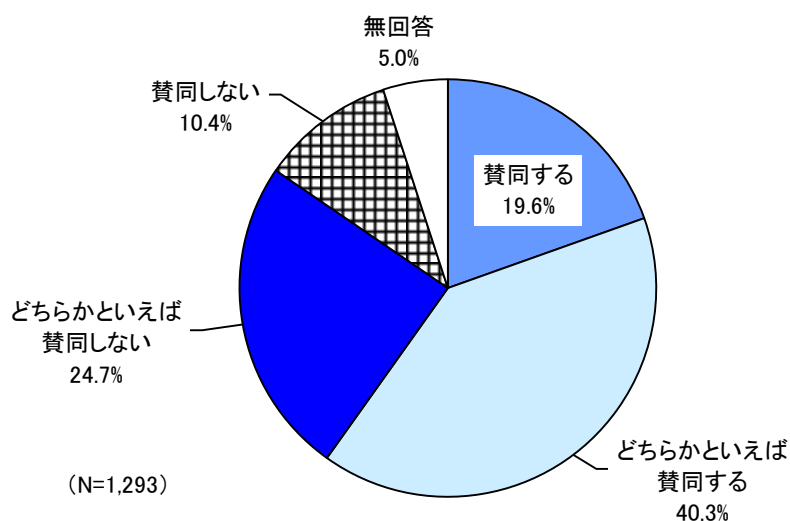
(6) 性的少数者に対する支援の広がりについての考え方

問 40 性的少数者（体の性と心の性が一致しない人、同性を好きになる人、異性も同性も好きになる人など）への支援が広がっていることについて、あなたはどのように思いますか。

（あてはまる番号1つに○）

（例）東京都渋谷区では、同性カップルを結婚に相当する関係と認め、証明書を発行することが決まった（平成27年3月）。

【図表 9-6 性的少数者に対する支援の広がりについての考え方】

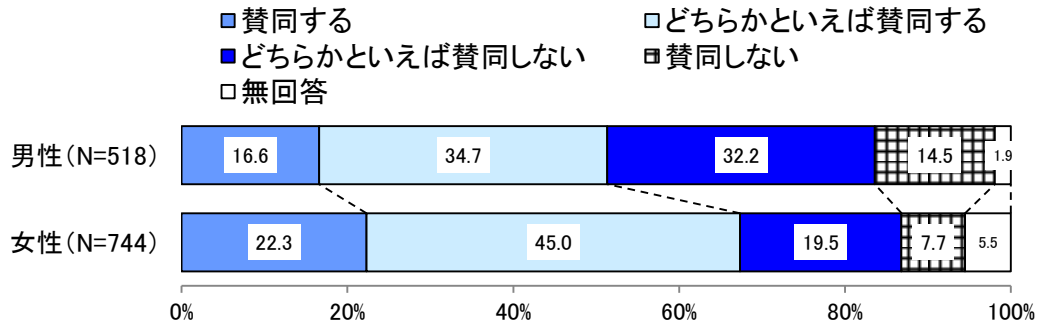


性的少数者に対する支援の広がりについての考え方は、「どちらかといえば賛同する」が40.3%で最も高く、次いで「どちらかといえば賛同しない」が24.7%、「賛同する」が19.6%、「賛同しない」が10.4%となっている。「賛同する」（「賛同する」と「どちらかといえば賛同する」を合わせた数）は59.9%、「賛同しない」（「どちらかといえば賛同しない」と「賛同しない」を合わせた数）は35.1%で、「賛同する」が過半数を占めている。

(図表 9-6)

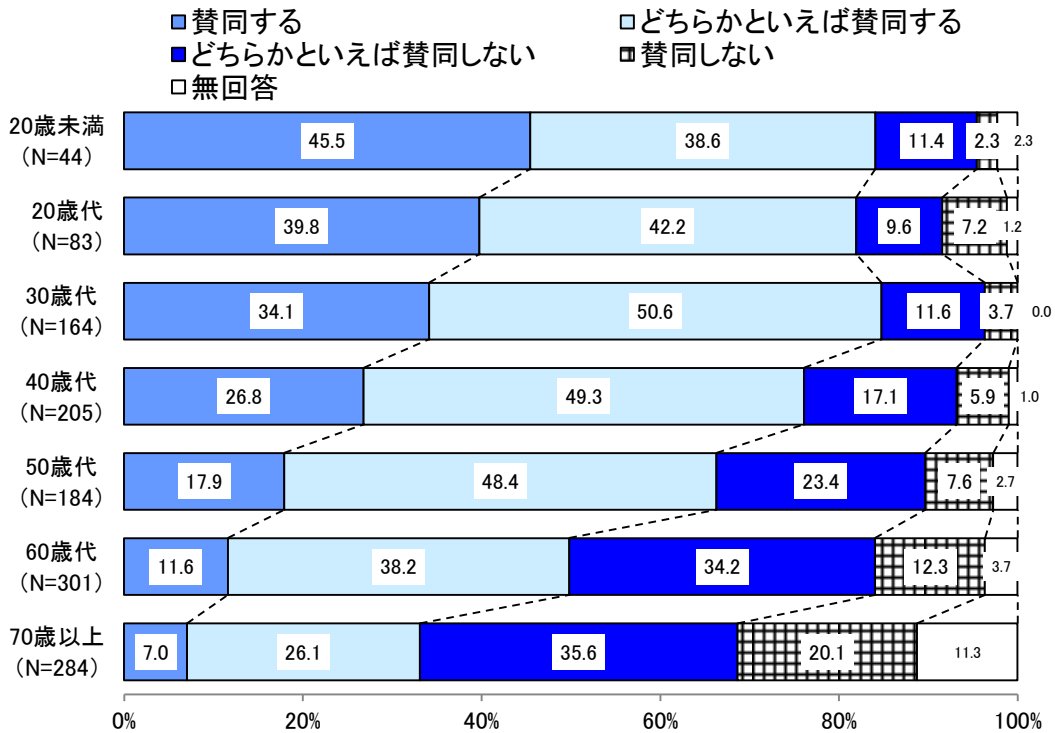


【図表 9-6-1 性別 性的少数者に対する支援の広がりについての考え方】



性的少数者に対する支援の広がりについての考え方を性別で見ると、“賛同する”は男性が51.3%、女性が67.3%で、女性は男性と比べて“賛同する”が16.0ポイント高くなっている。(図表 9-6-1)

【図表 9-6-2 年齢別 性的少数者に対する支援の広がりについての考え方】

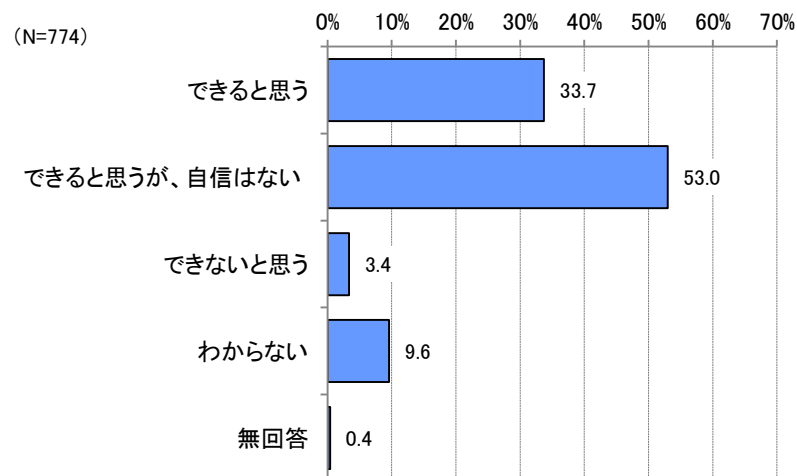


性的少数者に対する支援の広がりについての考え方を年齢別で見ると、おおむね年齢が上がるにつれて“賛同する”が低くなっており、20歳未満では84.1%だが70歳以上では33.1%にとどまっている。(図表 9-6-2)

(7) 家族に性的少数者であると告白された場合の理解

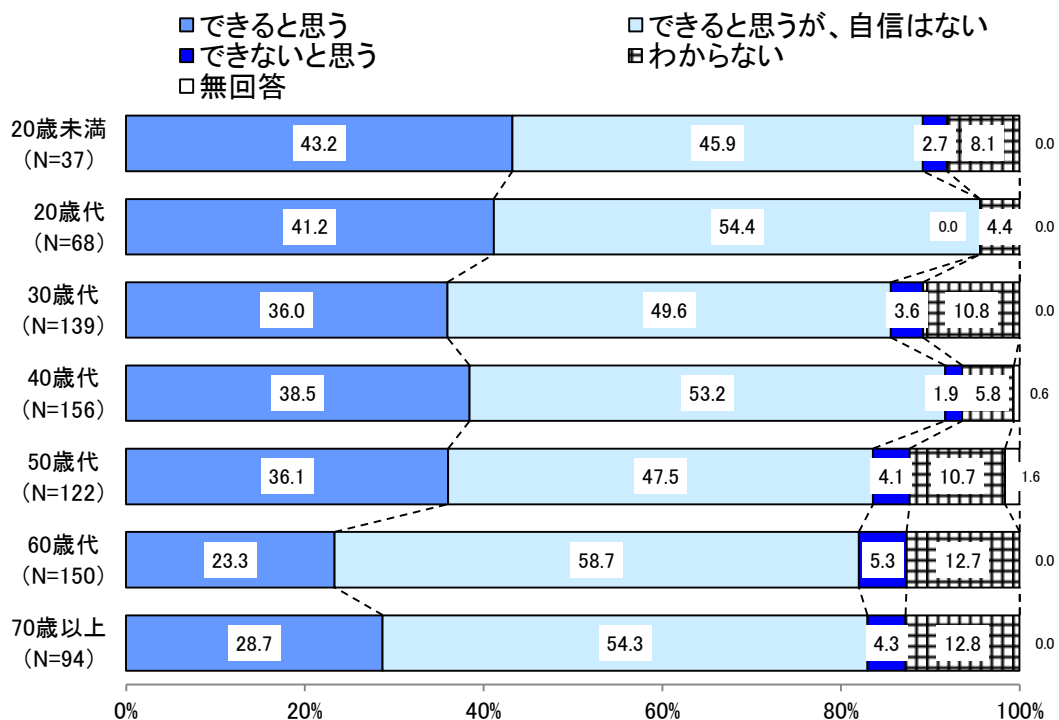
問 41 問 40 で、「1. 賛同する」「2. どちらかといえば賛同する」と答えた方にお聞きします。  
もしあなたの親・子ども・配偶者といった家族が性的少数者であるとあなたに告白した場合、あなたはその人の理解者となることができますか。(あてはまる番号 1 つに○)

【図表 9-7 家族に性的少数者であると告白された場合の理解】



家族に性的少数者であると告白された場合の理解については、「できると思うが、自信はない」が 53.0%で最も高く、次いで「できると思う」が 33.7%となっている。「できないと思う」は 3.4%、「わからない」は 9.6%となっている。(図表 9-7)

【図表 9-7-1 年齢別 家族に性的少数者であると告白された場合の理解】



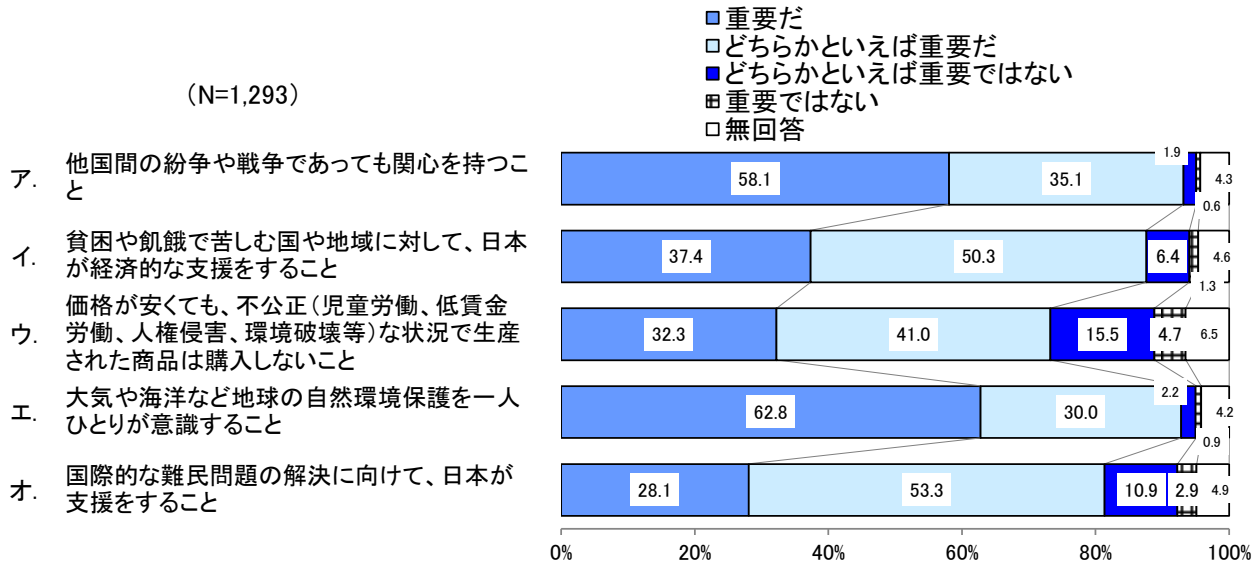
家族に性的少数者であると告白された場合の理解を年齢別でみると、いずれの年齢でも「できると思うが、自信はない」が5割前後で最も高くなっている。「できると思う」は20歳代以下では4割台、30歳代～50歳代では3割台、60歳代以上では2割台となっている。(図表 9-7-1)

(8) 地球規模の問題についての考え方

問 42 地球規模の問題について次のように考えることを、あなたはどのように思いますか。  
(それぞれあてはまる番号1つに○)

【図表 9-8 地球規模の問題についての考え方】

(N=1,293)



地球規模の問題についての考え方については、いずれの項目でも“重要だ”（「重要だ」と「どちらかといえば重要だ」を合わせた数）が7割を超えている。“重要だ”が高い項目は順に「ア. 他国間の紛争や戦争であっても関心を持つこと」（93.2%）、「エ. 大気や海洋など地球の自然環境保護を一人ひとりが意識すること」（92.8%）、「イ. 貧困や飢餓で苦しむ国や地域に対して、日本が経済的な支援をすること」（87.7%）、「オ. 国際的な難民問題の解決に向けて、日本が支援をすること」（81.4%）、「ウ. 価格が安くても、不公正（児童労働、低賃金労働、人権侵害、環境破壊等）な状況で生産された商品は購入しないこと」（73.3%）となっている。

また「重要だ」が過半数を占めている項目は「ア. 他国間の紛争や戦争であっても関心を持つこと」（58.1%）、「エ. 大気や海洋など地球の自然環境保護を一人ひとりが意識すること」（62.8%）となっている。（図表 9-8）